⑩ 日本国特許庁(JP)

@李用新案出顧公開

② 公開実用新案公報(U)

平4-18990

®Int.Cl.* H 01 R 31/06 H 02 M 7/04 識別記号 庁内整理番号 B 6901-5E E 7154-5H ❸公開 平成4年(1992)2月18日

審査請求 未請求 請求項の数 2 (全4頁)

図考案の名称 電源接続用アダプタ装置

②実 顧 平2-59771

❷出 願 平2(1990)6月6日

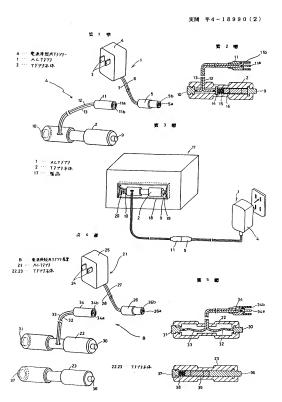
の考 案 者 佐藤 安太 東京都葛飾区青戸4丁目19番16号 株式会社タカラ内 @考 宴 者 浅 見 行 弘 東京都葛飾区青戸4丁目19番16号 株式会社タカラ内 の考 宴 者 斉 薛 恒 矢 東京都葛飾区青戸4丁目19番16号 株式会社タカラ内 何考 宴 者 H ¥ŕ 東京都葛飾区青戸4丁目19番16号 株式会社タカラ内 の考 実 者 di JR 東京都葛飾区青戸4丁目19番16号 株式会社タカラ内 6 -人 随 出の 株式会社タカラ 東京都葛飾区青戸4丁目19番16号 四代 理 人 弁理士 瀬川 幹夫

命字用新客登録請求の範囲

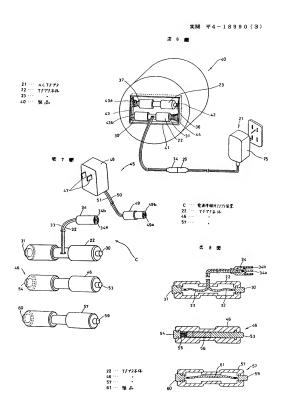
- (1) 乾電池を電源として動作する製品へ家庭用電源を接続するための、以下の要件を備えることを特徴とする電源接続用アダプタ装置。
 - (イ) 上記家庭用電源を上記製品に応じた電圧の 直流に変換するACアダプタと、上記製品が 備える電池ボックスに収納されるアダプタ本 体とから構成すること。
 - (ロ) 上記アダプタ本体は上記電池ポツクスに収納される大きさに形成されていること。
 - (*) 上記アダプタ本体の両端に上記乾竜池の陽 値に相当するプラス電極と、上記乾電池の陰 極に相当するマイナス電極とが形成されていること。
- (二) 上記陽極に相当するプラス電極を、較電池 と同じくアダプタ本体の端面の中央から突出 して形成したこと。
- (2) 上記アダプタ本体の内部に、上記製品の定格 電流に応じたヒューズが取り替え可能に収納さ れていることを特徴とする請求項(1)記載の電源 田棒経用アダプタ装置。

図面の簡単な説明 第1図は本考案に係わる電源接続用アダプタ装 置を示す斜視図、第2図はアダプタ本体の断面 図、第3図は1個の乾電池を電源として動作する 製品が備える電池ポックスに上記電源接続用アダ プタ装置を接続した場合の使用態様説明図、第4 関け本書客に係わる電源接続用アダプタ装置を示 す斜視図、第5図はアダプタ本体の断面図、第6 図は2個の乾電池を電源として動作する製品が備 える電池ポツクスに上記電源接続用アダプタ装置 を接続した場合の使用態様図、第7図は本考案に 係わる雷順接続用アダプタ装置を示す斜視図、第 8 図はアダプタ本体の断面図、第9 図は3個の乾 響池を雷瀬として動作する製品が備える電池ポツ クスに上記電源接続用アダプタ装置を接続した場 合の使用態様図である。

符号A, B, C······電源接続用アダブタ装置、
1, 21, 45······ACアダブタ、2, 2, 2
3, 46, 57······アダブタ本体、17, 40, 61······製品。



- 206 -



- 207 -

実開 平4-18990(4)

